

平成23年政事業レビューシート

(環境省)

事業名	良好な感覚環境形成のための街作り推進費		担当部局庁	水・大気環境局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成20年度～平成22年度		担当課室	大気生活環境室		室長 大村 卓		
会計区分	一般会計		施策名	3-2 大気生活環境の保全				
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	環境省設置法第3条		関係する計 画、通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を 簡潔に。3行程 度以内)	今後の騒音・悪臭防止対策の推進に当たっては、これまでの規制を中心とした行政に加え、良好な感覚環境を創出・保全していく手法を組み合わせることが必要となっていることから、すずしさ、光、かおり、よい音といった五感に心地よい環境を取り込んだ地域づくりを推進することを目的とする。							
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	<ul style="list-style-type: none"> ・感覚環境のまちづくりに関するコンテストの創設に関する検討を行い、コンテスト(「五感で楽しむまち大賞」)を試行的に実施した。コンテストの実施により、全国から優良取組を発掘・顕彰するとともに、広く情報発信を行った。 ・市民や地域社会が取り組んでいる感覚環境のまちづくりに関する取組の認知度を向上し、そのような取組の拡大普及を図るため、一般の方が参加できるフォーラムを開催し、有識者の講演やコンテストの表彰取組の紹介を行った。 							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・ 執行額 (単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求		
	予 算 の 状 況	当初予算	9	6	6			
		補正予算	0	0	0			
		繰越し等	0	0	0			
		計	9	6	6			
	執行額	10	8	9				
	執行率(%)	111.1%	133.3%	150.0%				
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	シンポジウム・公開検討会(フォーラム)参加人数		成果実績	人	230	147	158	—
			達成度	%	—	—	—	
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	「五感で楽しむまち大賞」における累計表彰取組数		活動実績 (当初見込み)	件			5 (4)	— ()
単位当たり コスト	— (円 /)		算出根拠	感覚環境のまちづくりの取組の実施者としては、地方公共団体、事業者、教育機関、住民団体(自治会、町内会等)、NPO、個人等様々な主体が考えられ、単位当たりコストを算出することは適当ではない。また、その内容等を量的に把握することは困難である。				
平成 23 ・ 24 年 度 予 算 内 訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	要求なし							
	計							

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	補記欄参照。
	×	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	-	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	-	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	達成目標が定性的であり、平成22年度に実施したコンテストも試行的な実施であったため、継続的かつ定量的な指標により達成度を把握することは難しい。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>「五感で楽しむまち大賞」の実施、フォーラムの開催及び検討会の開催に当たっては、環境省担当官が請負者と十分打合せを行った。また、当該フォーラム及び検討会には環境省担当官も出席し、業務が適切に行われたことを確認しており、予算は適切に執行されたと承知している。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
廃止	当初の目的を達成したため、事業終了		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
平成22年度限りで廃止とする。			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
平成22年度行政刷新会議による事業再仕分けの結果、「国の事業として廃止」と判定された。			

※平成22年度実績を記入

環境省
9百万円

- ・「五感で楽しむまち大賞」共催団体との調整
- ・フォーラム、検討会準備等の進行確認
- ・外部有識者による検討会等の契約



【総合評価入札】

A.(社)国際環境研究協会
9百万円

- ・「五感で楽しむまち大賞」の制度の検討に係る有識者検討会の準備・開催
- ・「五感で楽しむまち大賞」事務局(応募・問い合わせの受付、Webコンテンツ制作、インターネット投票の実施)
- ・「五感で楽しむまち大賞」の審査会の実施
- ・フォーラム(「五感で楽しむまち大賞」表彰式を含む)の準備・開催

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者につい
 て記載する。費目と使途の双方
 で実情が分かるように記載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	良好な感覚環境形成のためのまちづくり推進に関する業務	9			
計		9	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	国際環境研究協会	良好な感覚環境形成のためのまちづくり推進に関する業務	9	1	97.7%
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					